

国立大学法人島根大学経営協議会（第106回）〈議事要録〉

日時 令和2年5月7日（水）14:00～15:37
場所 本部棟3F特別会議室（WEB会議）
出席者 服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，長澤理事，宮脇理事，
上野理事
大西委員，高塩委員，有澤委員，秦委員，松浦委員，三輪委員，谷口委員，大
矢委員，福島委員
欠席者 なし
〔陪席：千家監事〕

○ 議事に先立ち，学長から挨拶及び各委員の紹介があった。

議題（1）学長選考会議委員の選考について

- 藤田理事から，学長選考会議規則に基づき，経営協議会の学外委員から6名の学長選考会議委員を選出することについて説明があった。
- 有澤委員，秦委員，谷口委員，大矢委員，大西委員，高塩委員の6名が推薦され，異議なく議決された。

報告事項（1）令和元年度資金運用報告について

- 長澤理事から，令和元年度資金運用の状況について報告があった。なお，資料p.4の「3. 各金融商品別の運用実績」のうち，国債の平均利回りの対前年度比が「△0.088%」と表記されているが，「0.088%」の誤りであるため修正すると説明があった。
- 学外委員から，特定余裕金の内容について質問があり，長澤理事より奨学寄附金等の当面執行を要しない部分であると回答があった。

報告事項（2）インフラ長寿命化計画（個別施設計画）の策定について

- 長澤理事から，インフラ長寿命化計画（個別施設計画）の策定について報告があった。
- 学外委員から次の通り質問があった。
 - ① 建物改築のサイクルを伸ばすと施設の耐久性及び設備の性能維持の問題が出てくるが，この点について検討されたのか。
 - ② CO₂削減や省エネ化，事業継続（BCP）対応について検討されているのか。
長澤理事からそれぞれ次の通り回答があった。
 - ① 計画的に適宜修繕を行うなかで，どのような技術をどう取り入れていくか，また，要・不要の仕分けも必要になってくると考える。
 - ② 環境レポート等により示していくが，技術的なことを含みコストや環境への影響も考えて総合的に対応していく。
- 学外委員から，P.7の長寿命化促進期間において大学の財源はどのように捻出するのか質問があった。長澤理事から，金額はあくまでもp.4の修繕をすべて行うことを前提に試算したものである。実際には計画通りに進められるか不透明な部分もあり，資金の捻出は課題であると回答があった。
- 学外委員から，今後の建物改修のために大学が自身で調達できる資金をきちんと計算して，それ以外の部分は国が施設整備費補助金を手当てしないと大学の施設が維持できないということをストレートに示す資料を作ることも一案ではないかとの意見があつ

た。

報告事項（３）内部統制システム（役員モニタリング）に係る令和元年度の実施状況と令和２年度のテーマについて

- 藤田理事から、内部統制システム（役員モニタリング）に係る令和元年度の実施状況と令和２年度のテーマについて報告があった。
- 学外委員から、「ハラスメント防止体制」について、教員のハラスメント事案を減らすために弁護士などの専門家に島根大学の組織風土や防止体制、有効な対策について改めてチェックしていただき、抜本的な対策を講じる必要があるのではないかとの意見があった。藤田理事から、教員の学生指導の改善や教育力の向上に繋がる研修をどのように行うべきか弁護士を含め関係者で議論しているところであり、ご指摘いただいた内容に対応できるよう問題意識を持って見直しを行っていくと回答があった。学長から、しっかりと取り組んでいきたいと発言があった。
- 学外委員から、年１回程度マスコミ関係者との懇談会を開催し、大学の方針を記者などに説明することでコミュニケーションがうまく取れるのではないかと提案があった。藤田理事から、担当課で働きかけをしているところであり、ご指摘いただいた方向で調整したいと回答があった。
- 学外委員から、「ハラスメント防止体制」の個人研修プログラムについて、教員が自身のハラスメント行為を自覚してプログラムを受けているのか質問があった。藤田理事から、本人に自覚があり、どうすればハラスメントを起こさずに済むのか徹底して自覚を促すよう研修を行っているという回答があった。

報告事項（４）附属病院運営状況について

- 井川理事から、附属病院運営状況について報告があった。
- 学外委員から、p.3 診療費用請求額等調に関して、売上に相当する計数の管理以外のコストや利益の管理について質問があった。井川理事から、収入額の内容等について説明があった。
- 学外委員から、新型コロナウイルス感染症への附属病院の対応状況について質問があった。井川理事から、人工呼吸器やECMOの数及びそれを扱う専門医や技師の配置状況、マスクや防護衣、フェイスシールドの備蓄状況等について回答があった。
- 学外委員から、一般患者への対応状況について質問があった。井川理事から、入院患者への面会は原則全面禁止にしているが、オンライン面会を検討中であること、病院長メッセージをHPや病院ニュースに掲載するとともに、院内のお知らせ用モニターでの情報提供も行い、一般患者が不安にならないよう気を配っていると回答があった。

報告事項（５）国立大学法人ガバナンス・コードの策定・公表について

- 学長から、国立大学法人ガバナンス・コードの策定・公表について報告があった。

報告事項（６）その他

- 学長から、新型コロナウイルス感染症への島根大学の対応状況について説明があった。
- 学外委員から、地方大学・地域産業創生交付金事業の進捗状況について質問があった。秋重理事より、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて大学での授業や高校での講演をオンラインで準備していること、安来の日立金属と松江との間で人の往来が難しくなってい

るため、事業を精選しながらできることからやっていると回答があった。上野理事より、大学と企業間での行き来ができないため、冶金研究所から研究者2名を大学に常駐させ、実験立ち上げ等を行っているとの説明があった。

- 学外委員から、フレックスターム導入による2019年度の長期インターンシップや海外留学、ボランティアなどの実績について質問があった。学長から後日報告すると回答があった。